

心肺蘇生法

119番通報とAEDの手配、胸骨圧迫（心臓マッサージを）続ける
これだけでもやりましょう！

反応がない



助けを呼ぶ（119番通報とAEDの手配）

呼吸の確認（普段どおりの息をしているか）

呼吸があるかないか、
胸とお腹の動きを確認

息をしていない
わからない

息をしている

気道確保（息をしやすい状態に）
して救急隊を待つ

必ず

胸骨圧迫（心臓マッサージ）

強く（胸の厚さの1/3）
速く（1分間に100～120回）
絶え間なく（中断を最小に）



1歳未満



1歳以上

できれば

人工呼吸 人工呼吸の技術と
行う意思があれば

胸骨圧迫30回 に
人工呼吸2回 の組合せ

人工呼吸に手間取って
胸骨圧迫が途切れることだけは
絶対に避けましょう！

圧迫する部位は胸の真ん中
圧迫するたびに胸が元の高さに
戻ることを確認しましょう



あごを上げ、頭を後ろに曲げて、
顔は少しのけぞるように

AEDが到着

小学生以上

成人用パッド/モードを使用する
＊小学生に小児用を使用しない

未就学児

- ・小児用パッド/モードを使用する
- ・なければ成人用を使用する
- ・胸と背中に貼る等、パッドが重ならないようにする

AEDを使う（電源を入れる）

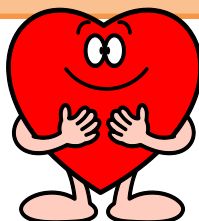
電源を入れると、AEDから音声の流れ、手順を指示するので、医学の知識がない一般の方でも使えます。
（蓋をあけると自動的に電源が入るAEDもあります）



AEDが心電図を解析（電気ショックは必要か）

必要あり

必要なし



- ① 電気ショック1回
- ② その後すぐに、胸骨圧迫から心肺蘇生を再開（2分間）

すぐに、胸骨圧迫から心肺蘇生を再開（2分間）

AEDの解析（必要あれば電気ショック）
と心肺蘇生を繰り返します

A
E
D
自
動
回
答

正常な呼吸か目的のある仕草が認められる
または 救急隊と交代するまで続けましょう

AEDとは

- ・AED（自動体外式除細動器）は、心臓がけいれんして、血液を流す機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。
- ・消防署などでは、住民の方々向けの救命講習会を行っています。積極的に参加して、もしも…のときに備えておきましょう。
※詳しくは、お近くの消防署へ